保護者の皆様へ

令和８年 11 月４日　札幌市立清田中学校

令和８年度全国学力・学習状況調査の結果

３年生を対象として、４月 20 日、23 日、５月 20 日に実施した「全国学力・学習状況調査」の調査結果の概要がまとまりましたのでお知らせします。なお、本校ホームページ内、「学校のとりくみ」「学ぶ力の育成プログラム」に本校の「学ぶ力の育成プログラム」とともに掲載しています。

	本校の概要	今回の調査における課題	改善の方向
中学校　国語	**【領域】** □〔知識及び技能〕における「言葉の特徴や使い方に関する事項」は全国平均に比べやや下回る。また、〔知識及び技能〕における「情報の扱い方に関する事項」、〔思考力・判断力・表現力〕における「話すこと・聞くこと」は、全国平均に比べ、正答率が下回る。 □「選択式」の問題形式においては全国平均からやや下回り、「短答式」の問題形式においては、全国平均から下回る一方で、「記述式」の問題形式においてはほぼ同程度だった。ただ、「記述式」の問題に関しては無回答率が高い。	●単語の活用についての知識。 ●目的や場面に応じて、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討すること。 ●「記述式」になると、どう書いて良いか分からず無解答となる生徒と、適切に記述できる生徒の二極化。	○文法的知識について、教師からの知識の伝達のみならず、繰り返し演習したり、知識を活用する活動をしたりすること。 ○「話すこと・聞くこと」の授業として、スピーチや聞き取りだけでなく、話し合いの活動を増やすこと。 ○「記述式」問題において、特に無回答率の高かった「考えの形成や記述」の学習過程を意識した授業を行うこと。具体的には、多様な考えができる事柄について自分の考えを書く活動などが考えられる。 ○授業の中で、優れた記述を取り上げてお手本にしたり、記述したものにアドバイスをし合う活動を行ったりすることで、記述に苦手意識をもつ生徒へのアプローチを試みること。

分類		区分	全国との比較
学習指導要領の内容	知識及び技能	(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項	ほぼ同程度であるが、やや下回る
		(2) 情報の扱い方に関する事項	下回っている
		(3) 我が国の言語文化に関する事項	―
	思考力,判断力,表現力等	A　話すこと・聞くこと	下回っている
		B　書くこと	ほぼ同程度であるが、やや上回る
		C　読むこと	ほぼ同程度
評価の観点		知識・技能	下回っている
		思考・判断・表現	ほぼ同程度であるが、やや下回る
		主体的に学習に取り組む態度	―
問題形式		選択式	ほぼ同程度であるが、やや下回る
		短答式	下回っている
		記述式	ほぼ同程度

※「ほぼ同程度」は、全国平均と同じ、「やや上回る」「やや下回る」は全国平均の±３．０ポイントの範囲内

	本校の概要	今回の調査における課題	改善の方向
中学校　数学	A 数と式 ・全国平均とほぼ同程度の結果となった。 B 図形 ・全国平均とほぼ同程度の結果となった。 C 関数 ・全国平均を下回る結果となった。 D データの活用 ・全国平均を下回る結果となった。	A 数と式 ・計算技能に関する能力を身に付けた上で、それらの計算式がどのような場面で活用されるのか、という視点をもつことが課題となった。 B 図形 ・図形の数量を求める問題では、具体的ではなく文字式であっても解けることが課題である。 ・図形に関する説明が長い問題文の読解力が課題である。 C　関数 ・初めて知るような関数関係の事象を問題文から読み取ること が課題である。 D　データの活用 ・資料を整理したあとのデータを どのように活用するのかという 部分が課題である。	A 数と式 ・技能を身に付けて終わるのではなく、利用分野において、身に付けた技能をどのような目的で活用するのかという問題にもしっかり時間をかけるようにする。 B　図形 ・図形分野では、数を使った数量計算だけではなく、文字式でも表せるよう、図形の性質をよく理解し、活用できるようにする。 C　関数 ・日常的な場面の関数に触れ、文の中から必要な数量を読み取れるようにする。 D　データの活用 ・資料からとるデータの種類ごとに、そのデータの活用方法を理解し、考察までをセットに学習を進めるようにする。

分 類	区分	全国（公立）
学習指導要領の領域	数と式	ほぼ同程度である
	図形	ほぼ同程度である
	関数	下回っている
	資料の活用	下回っている
評価の観点	知識・技能	ほぼ同程度である
	思考・判断・表現	ほぼ同程度であるが、やや下回る
問題形式	選択式	ほぼ同程度であるが、やや下回る
	短答式	ほぼ同程度であるが、やや下回る
	記述式	ほぼ同程度であるが、やや下回る

※「ほぼ同程度」は、全国平均と同じ、「やや上回る」「やや下回る」は全国平均の±３．０ポイントの範囲内

	本校の概要	今回の調査における課題	改善の方向
中学校　英語	**【領域】** □「聞くこと」 ・目的や状況を判断し、概要や必要な情報を聞き取る、判断することは全国平均を上回る。 ・知識を実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能は全国平均をやや下回る。 □「読むこと」 ・状況を判断し、必要な情報を読み取ることは全国平均を下回る。 ・短い文章を読み、概要を捉えることは全国平均を下回る。 □「書くこと」 ・事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、まとまりのある文章を書くことは全国平均を上回る。 ・文章の要点を捉え、自分の考えを書くことは全国平均を下回る。 □「話すこと[やりとり]」 □「話すこと[発表]」 ・知識を実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能［やり取り］は、表現内容によって、全国平均を上回るものと下回るものの差が大きい。また、全国平均に比べ、無回答率が高い。 ・事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、まとまりのある内容を話すこと[発表]は、全国平均をやや下回る。また、全国平均に比べ、無回答率が高い。	●語彙、文法等の知識をコミュニケーションにおいて活用すること。 ●目的や状況に応じて、集めた材料の整理をすること。 ●文章の概要を捉え、書き手の伝えたいことや気持ちを読み取ること。 ●自分の考えに理由等の情報を付け足して記述すること。 ●「記述式」「口述式」では、どのように答えて良いか分からず、無解答となる生徒が多いこと。 ●即興で自分の考えや気持ちを整理し、まとまりのある内容を話すこと。	○文法的知識を活用しながら、実際のコミュニケーションに則した場面や状況を設定し、必要な情報を聞き取ったり、適切な応答をする活動をすること。 ○授業において、まとまりのある英文を読み、時系列や話の展開、聞き手のもっとも伝えたいことに着目し、概要を捉える活動を増やすこと。 ○日常的な話題や社会的な話題について、自分の考えやその理由、それに関連する情報をマッピング等で整理し、思考を広げながら、記述につなげる活動をすること。 ○生徒同士で、目的、場面、状況に適切な表現を確認したり、アドバイスをし合う活動を増やし、苦手意識をもつ生徒が間違いを恐れず挑戦できるようなアプローチをする。 ○実際のコミュニケーションに則した場面や状況を設定し、即興で対話したり、自分の考えを伝える活動を増やす。

分類	区分	全国との比較
学習指導要領の内容	(1) 聞くこと	設問による正答率の差が大きい
	(2) 読むこと	下回っている
	(3) 話すこと［やり取り］	設問による正答率の差が大きい
	(4) 話すこと［発表］	やや下回る
	(5) 書くこと	設問による正答率の差が大きい
評価の観点	知識・技能	ほぼ同程度
	思考・判断・表現	設問による正答率の差が大きい
	主体的に学習に取り組む態度	―
問題形式	選択式	設問による正答率の差が大きい
	短答式／口述式	設問による正答率の差が大きい
	記述式／口述式	やや下回る

※「ほぼ同程度」は、全国平均と同じ、「やや上回る」「やや下回る」は全国平均の±３．０ポイントの範囲内

生活や学習に関する調査について（生徒質問紙調査での全国との比較）

肯定的な回答の多い項目

〇朝食を毎日食べていますか

〇毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか

〇毎日、同じくらいの時刻に起きていますか

〇学校での悩みついて、あなたの親や家族は、どれくらいあなたと話しますか

〇自分には、よいところがあると思いますか

〇あなたは自分が PC・タブレットなどの ICT 機器を使って情報を整理する（図、表、グラフ、思考ツールなどを使ってまとめる）ことができると思いますか

〇１，２年生のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していましたか

〇総合的な学習の時間では、PC・タブレットなどの ICT 機器を使って、うまく情報を集めたり、整理したり、発表したりできていますか

全国平均と比べ時間の長い項目

・普段（月曜日から金曜日）、１日当たりどれくらいの時間、スマートフォンや携帯電話、パソコン、タブレット、ゲーム機、テレビ等で SNS や動画視聴などをしますか。

肯定的な回答の少ない項目

・人が困っている時は、進んで助けていますか

・学校に行くのは楽しいと思いますか

・あなたの学級では、人と違う意見を言っても否定されないと思いますか

・地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか

・１，２年生のときに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか

・１，２年生のときに受けた授業では、各教科で学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか

・１，２年生のときに受けた授業では、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていましたか

・学級活動における学級での話合いを生かして、今、自分が努力することを決めて取り組んでいますか

・国語の勉強は好きですか

・英語の勉強は得意ですか

全国平均と比べ時間の短い（少ない）項目

・学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、１日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間を含む）

・学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、１日当たりどれくらいの時間、PC・タブレットなどの ICT 機器を、勉強のために使っていますか（遊びなどの目的に使う時間は除く）

・土曜日や日曜日など学校が休みの日に、１日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間を含む）

・学校の授業時間以外に、普段、１日当たりどのくらいの時間、読書をしますか（電子書籍の読書も含む。教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）

・昼休みや放課後に、本（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）を読んだり、借りたりするために、学校図書館・学校図書室（電子図書館を含む）にどれくらい行きますか

・放課後や学校が休みの日に、本（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）を読んだり、借りたりするために、地域の図書館（電子図書館を含む）にどれくらい行きますか

子どもの力を伸ばすために

質問紙の回答から、自己肯定感の高い集団である一方で、自己を表現することや自ら課題解決に取り組むことへの苦手意識が高い傾向にあると言えます。よって、学校生活の場において、自分の良さを生かしながら主体的に課題解決に取り組み、達成感や充実感をより感じられる場の設定や、互いの良さや違いを認め合える豊かな心の醸成、生徒の考えや気持ちに寄り添った支援体制の構築をしていきます。

また、ICT 機器が身近になり、授業の中で十分に活用できる力が身についている一方で、日常生活での使用時間や使用目的については、課題があります。健康面と生活面への影響が大きいことから、御家庭と協力しながら改善していきたいと考えています。

さらに学習の振り返りや自己の生活を振り返ることで、課題を発見し、解決を目指すといった取り組みに苦手意識のある生徒が少なくありません。各教科の取組や日常の自治活動を通して高めていけるよう、より一層の工夫をし、支援を続けていきます。

＊さっぽろっ子「学び」のススメ

質問紙では、生活習慣や学習習慣に関して肯定的な回答が多くありました。また、お子様の悩みに寄り添っていただき感謝しております。引き続き、生活、学習への支援を御家庭でもご協力をお願いいたします。



札幌市教育委員会では、「学習習慣」「運動習慣」「生活習慣」づくりを学校とご家庭が『まほうのかいわ』を合言葉に、５つのポイントでお子様の成長を支援する活動を推進しています。

ま　：学んだことを一緒に振返りましょう。
ほう：方法を一緒に考えましょう。
の　：伸びを認め、ほめましょう。
かい：改善に向けて生活を一緒に振返りましょう。
わ　：わからないこと、できないことに挑戦できるよう励ましましょう